

鳥取県福祉保健部及び子ども家庭部指定管理施設運営状況評価委員会評価報告書

鳥取県福祉保健部及び子ども家庭部指定管理施設運営状況評価委員会（以下「評価委員会」とする）にて、次のとおり指定管理者による鳥取県立福祉人材研修センターの管理運営状況を評価した。

1 対象施設

鳥取県立福祉人材研修センター

2 指定管理者

社会福祉法人鳥取県社会福祉協議会（鳥取市伏野 1 7 2 9－5）

3 指定管理期間

令和 6 年 4 月 1 日から令和 1 1 年 3 月 3 1 日まで（5 年間）

4 評価委員会について

（1）開 催 日 令和 8 年 8 月 2 8 日（金）

（2）開催場所 鳥取県立福祉人材研修センター学習室及び施設内

（3）委員

氏 名	所属及び役職名
石田 浩朗（委員長）	社会福祉法人あすなろ会あすなろ西ケアプランセンター 介護支援専門員
相川 泰	公立大学法人公立鳥取環境大学経営学部 教授
小谷 誠	税理士法人小谷会計 代表税理士
田中 恵理	社会福祉法人福生会三喜苑居宅介護支援事業所 管理者

5 評価委員会協議結果

（1）評価方法

令和 6 年度から令和 7 年度分の指定管理者から提出された事業報告及び各年度の県による評価結果、施設内視察等に基づき、各委員が以下の審査項目ごとに評価を行った。

評価は、「2、1、0、△1、△2」の 5 段階で行い、4 人の委員の平均で決定した。

審査項目	主な審査内容
施設設備の維持管理・緊急時の対応	・施設設備の保守管理・修繕 ・施設の保安警備、清掃等 ・事故の防止措置、緊急時の対応
施設の利用の許可、利用料の徴収等	・利用の許可 ・適正管理に必要な利用者への措置命令 ・利用料金の徴収、減免
その他管理施設の管理に必要な業務	・利用受付・案内 ・附属設備・備品の貸出 ・利用指導・操作
利用者サービス	・開館時間、休館日、利用料金等 ・利用者へのサービス提供・向上策 ・施設の利用促進 ・個人情報保護、情報公開 ・利用者意見の把握・対応
収入支出の状況	・経営状況
職員の配置	・管理運営の組織・職員の職種等 ・日常の職員配置

	・障がい者雇用等
会計事務の状況	・不適正事案や事故等の有無 ・業務報告書（月次）における内部検査結果 ・必要な規定類の整備
関係法令の遵守状況（労働関係法令、鳥取県産業振興条例等）	・関係法令に係る行政指導の有無等 ・県内企業への発注等
県の施策への協力	・障がい者就労施設への発注

《評価指標》

２： 協定書の内容について高レベルで実施されており、また、計画を上回る実績があり、特に優れた管理運営がなされている。

１： 協定書の内容を上回るレベルで実施されており、優れた管理運営がなされている。

０： おおむね協定書の内容どおり実施されており、適切な管理が行われている。

△１： 一部、改善・工夫を要する事項が見られたが、改善済み又は改善される見込みである。

△２： 協定書の内容に対し、不適切な事項が認められ、大いに改善を要する。

（２）評価結果

ア 評価点数

指定管理者による鳥取県福祉人材研修センターの管理運営状況の評価は「０」と決定した。

審査項目	評価（４人の委員の平均）
施設整備の維持管理・緊急時の対応	１
施設の利用の許可、利用料の徴収等	０．２５
その他管理施設の管理に必要な業務	０
利用者サービス	１
収入支出の状況	０．２５
職員の配置	０．２５
会計事務の状況	０
関係法令の遵守状況（労働関係法令、鳥取県産業振興条例等）	０．２５
県の施策への協力	０．２５

（注）総括の評価は０．３６となり、委員協議の上、５段階のうち「０」と決定。

イ 委員からの主な意見

【施設設備の維持管理・緊急時の対応に関する意見】

- ・総合的に大きな問題はなく、適切に管理運営ができています。
- ・自衛消防隊の活動において、指定管理者独自に未避難者の確認手順を考えているなど、緊急時の対応もしっかりしている。
- ・オンライン研修が増え、配信会場としての利用も多いと思うが、電気や冷暖房の使用を考えたときに、広い部屋の使用は、省エネという観点から見るともったいなく感じる場所がある。

【利用者サービスに関する意見】

- ・社会福祉という広範かつ営利事業とは同列に考えにくい分野について、制約がある中、積極的に運営に取り組んでいる。
- ・立地場所や公共交通機関との接続の不便さがあり、バス会社との相談など改善の余地はないものか。
- ・和室を発達障がい者支援センターの相談室として利用したり、全館で自閉症の方の避難体験を行うなど、指定管理者が日頃から当事者や当事者支援組織と良好な関係を持っている

からこそ、当事者目線の施設運営ができています。他にも様々な状況の当事者や支援組織の方々がおられるで、幅をさらに広げていただけるとよい。

- Web 会議の利用者や畳部屋に相談に来られた方など、利用人数だけでは評価が難しいと思う。今後に向けて、実態に合った利用者数のカウント方法を考案していただけるとよい。
- トイレの内部障がいのある方への配慮（サニタリーボックス設置）など、時代のニーズに合わせ対応がなされている。
- 福祉用具の老朽化への対応や現在の福祉現場で使われているものを備えておくことも利用者のニーズとしてはあると思うが、購入には費用がかかるので、状況に合わせて対応してもらえるとよい。
- 授乳室が利用しやすい雰囲気になっていてよかった。